

令和8年3月4日

地域連携推進会議

社会福祉法人 茨城補成会
共同生活援助事業
グループホームあつまれガッツ村

【出席者】

- ・利用者代表 鈴木 晃一 様
- ・ご家族代表 羽石 澄雄 様
- ・福祉及び経営に知見のある方 社会福祉法人清香会 育心園 園長 住谷 弘 様
- ・水戸市障害福祉課 大島 彩野 様
- ・事業所職員 飯田 真悟
- ・事業所職員 大内 朝陽

【欠席者】

- ・地域の関係者 内田 勝 様

次第

1. 会議の目的と役割
 - (1) 利用者と地域との関係づくり
 - (2) 地域の人へ施設等や利用者に関する理解の促進
 - (3) 施設等やサービスの透明性・質の確保
 - (4) 利用者の権利擁護
2. グループホームあつまれガッツ村の事業状況
 - (1) 法人の取り組み
 - (2) グループホームあつまれガッツ村事業報告
 - (3) 防災安全への取り組み
3. 利用者の権利擁護
 - (1) 虐待、事故、ヒヤリハット、苦情等の報告
 - (2) 社会参加
4. 施設訪問（ひとよし館、なかよし館）アンケート報告
5. 質疑応答
6. 施設訪問（すみよし6区館、すみよし7区館）
7. 閉会

1. 会議の目的と役割

地域連携推進会議は施設と地域が連携することにより、以下の目的を達成するため地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議になります。

- (1) 利用者と地域との関係づくり
- (2) 地域の人へ施設等や利用者に関する理解の促進
- (3) 施設等やサービスの透明性・質の確保
- (4) 利用者の権利擁護

(1) 利用者と地域との関係づくり

施設等の利用者が地域の一人として生活を送るためには、利用者と地域との関係づくりが重要です。会議や構成員による施設等への訪問を通じて、利用者と地域の人との顔の見える関係を構築することで、日頃からお互いに声を掛け合えたり、利用者が地域行事に参加しやすかったりするような、利用者が地域の中でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

(2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進

地域連携推進会議は、その名称からもわかるように、会議の開催や会議の構成員による施設等への訪問を実施することにより、地域に開かれた施設等になることを目指す会議体です。地域に開かれた施設等となることで、施設等や障害のある方の施設等での生活に対する理解を促進するとともに、施設等やその職員と地域の人との繋がりづくりを推進することを目的としています。

また、施設等の職員が地域の人を知るきっかけにもなり、施設等と地域の人の双方向による理解醸成が図られます。こうして地域との連携が深まることで、地域での事業運営がしやすくなり、効果的な事業運営に繋がることが期待されます。

(3) 施設等サービスの透明性・質の確保

障害福祉サービスの質の確保・向上については、従来から重要な課題として様々な議論がなされてきました。基本的には、人員、設備及び運営に関する基準において、質が担保されている一方、サービス類型ごとに更なる質の向上の取組みがなされています。例えば、児童発達支援や放課後等デイサービスについては、支援の質の向上を図るため、独自のガイドラインが策定されています。また、日中サービス支援型のグループホームは、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図るため、(自立支援)協議会に対し定期的に事業の実施状況を報告し、評価を受けるとともに、当該協議会から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないこととされています。

通所系のサービスと比較すると、外部の目が入りにくくなりがちな施設等を運営する事業者についても、地域に開くことにより施設等の運営やサービスの透明性を確保するため、地域の関係者等を含めた構成員による地域連携推進会議の開催及び当該構成員が地域連携推進員として施設等を訪問する仕組みの構築が重要となります。

日中の状況

	企業就労	就労移行	就労継続B	生活介護
7区1階	0	1	0	3
7区2階	2	1	1	2
6区	5	0	0	0
ひとよし東	0	0	0	5
ひとよし西	0	0	2	3
なかよし南	0	2	1	1
なかよし北	1	0	3	2

障害支援区分 ※全館平均：4.8

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
7区1階	0	0	0	0	2	2	5.5
7区2階	0	0	1	2	2	0	4.2
6区	0	1	4	0	0	0	2.8
ひとよし東	0	0	0	0	1	4	5.8
ひとよし西	0	0	0	0	3	2	5.4
なかよし南	0	0	2	2	0	1	4.0
なかよし北	0	0	0	1	2	2	5.2

年代 ※全館平均：34.3歳

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60歳以上	平均
7区1階	0	1	1	2	0	0	39.3歳
7区2階	0	3	2	1	0	0	38.6歳
6区	0	1	3	1	0	0	32.4歳
ひとよし東	0	2	2	1	0	0	30.0歳
ひとよし西	0	1	3	0	1	0	36.4歳
なかよし南	1	2	2	0	0	0	27.2歳
なかよし北	0	2	1	2	0	0	36.4歳

- (3) 防災安全への取り組み
別紙年間避難計画参照

3. 利用者の権利擁護

(1) 虐待、事故、ヒヤリハット、苦情等の報告

令和7年4月～令和8年1月

虐待	ヒヤリハット	事故	苦情
0件	5件	19件	0件

ヒヤリハット内訳

内服薬のセット抜け	4件	服薬確認	1件
-----------	----	------	----

事故内訳

物損	5件	利用者間トラブル	4件
内服薬（臨時薬）飲み抜け	3件	ケガ	3件
落薬	2件	誤薬	1件
引継ぎ抜け	1件		

(2) 社会参加

日時	内容	参加人数
6/14	異文化交流会（食の違い・文化の違いを感じよう）	25名
7/13	日帰り旅行①（東京ディズニーランド）	13名
9/27	ワークショップ参加（水戸市芸術館）	3名
10/12	あつまれ!! 吉田地区スポーツフェスティバル参加	7名
10/18	日帰り旅行②（ダチョウ王国 石岡ファーム）	7名
11/9	ふれあい吉田秋祭り	10名
12/6	バラアーティストフェスティバル見学	12名
12/13	県グループホーム等連絡協議会交流会	22名
1/12	成人を祝う会	18名
1/25	買い物ツアー（木更津アウトレット）	14名
毎週土曜日	移動販売利用（とくし丸）	10名程度
毎月1回	訪問理美容	7名程度

4. 施設訪問（ひとよし館、なかよし館）アンケート報告

○施設等の環境について

- ・ひとよし館の浴室において下水臭が気になったとの意見があった。
- ・各個室のプライバシーが守られており、快適な生活ができる環境であると感じたとの意見があった。
- ・施設内は全体的に清潔感があり、良好な生活環境であるとの意見があった。

○利用者の様子について

- ・女性利用者がお菓子作りをしている様子が見られ楽しそうであった一方、男性利用者は自室で静かに過ごしている様子が見られたため、休日の過ごし方について関心が寄せられた。
- ・利用者は明るく、職員との関係も良好である様子がうかがえた。

○職員について

- ・挨拶が元気で気持ちの良い対応であったとの意見があった。
- ・管理者の案内により、施設の状況について詳細な説明を受けることができた。
- ・外国人スタッフの配置について、夜間対応や利用者との意思疎通の面でどのような配慮が行われているのか関心が寄せられた。

○地域との関わりについて

- ・法人主催の地域交流夏祭りなどを通じ、地域との交流機会が設けられている。
- ・地域のゴミ拾いや環境整備への参加により、地域活動への参加が図られている。
- ・地域と持ちつ持たれつの関係づくりが理想的であるとの意見があった。
- ・日常生活の中で地域との関わりに支障が生じていないか関心が寄せられた。

5. 質疑応答

- ・すみよし7区館1階は区分5・6の利用者であるが、夜間支援は十分なのか。
⇒排泄等も含め夜間支援の必要がない利用者のみを対象としている。
- ・すみよし7区館、6区館の夜間連絡はどの程度あるのか。
⇒夜間の緊急連絡はほとんどなく、月に1回あるかないか程度である。
- ・住宅街にあるため火元管理への不安はないか。
⇒火気設備は使用しておらず、スプリンクラーを設置している。過去に電子レンジへ非耐熱容器を入れてしまい煙感知器が作動した事例はあった。火災予防については今後さらに強化していく。
- ・近隣住民からの苦情はあったか。
⇒過去に庭でのサッカーにより隣家の換気扇を破損させてしまった事例があり、現在は庭でのサッカーを禁止としている。

また夜間外出により近隣店舗でのトラブルがあった利用者については、夜間支援者常駐ホームへ移動する対応を行った。

自治会参加を通じて顔の見える関係づくりを進めており、利用者が近隣住民の庭の手入れを手伝うなど、地域との良好な関係も築けている。地域と良好な関係が維持できるよう、支援者としても意識して取り組んでいる。

- ・地域自治会とはどのような付き合いがあるのか。
⇒職員による総会参加をはじめ、各種行事や避難訓練へ参加している。祭りについては一般客としての参加に加え、出店者としての参加にも広がりが見られている。
- ・外国人スタッフと利用者との関係性に課題はないか。
⇒外国人スタッフについては、現状十分に日本語を話せるとは言い難いため、単独配置とならないよう職員配置に配慮している。コミュニケーションに特に配慮が必要な利用者もいるため、慎重に対応している。今後増加が見込まれる外国人スタッフの教育・指導については重要課題として認識している。
- ・休日はどのように過ごしているのか。
⇒「Guts Home Circle」という余暇支援活動を実施しており、家庭菜園、料理教室、スポーツ等の余暇活動を提供している。
- ・ひとよし館の下水臭の改善について。
⇒現状、下水設備の改善は難しいとの業者回答があった。来年度、隣接地にホームの建設を予定しているため、その際に改善できるよう努める。
- ・すみよし6区館リビング床の配線が危険である。
⇒壁面に配線を回すなどの改善を検討する。

6. 施設訪問（すみよし7区館、すみよし6区館）アンケート報告

○施設等の環境について

- ・静かな住宅街に位置し、施設内も清潔が保たれており良好な環境であるとの意見があった。
- ・生活感がある中にも整理整頓が行き届いている。
- ・室内だけでなく建物周辺も整備されており、良い環境である。
- ・住宅密集地であるため、進入路の狭さや延焼のしやすさなど災害時の不安が残るとの指摘があった。
- ・見学中に地区全体の停電が発生し、本部との連絡が途切れる事態があったため、連絡体制の対策が必要との意見があった。

○利用者の様子について

- ・利用者は明るく、良い雰囲気であった。

- ・自分の居室を積極的に案内してくれる様子が見られた。
- ・日頃から丁寧に暮らしている様子がうかがえた。
- ・水分補給後に自らコップを洗う姿が見られ、家事を自分事として認識している様子が感じられた。

○職員について

- ・施設内をきれいに保っている点は職員の努力によるものと感じたとの意見があった。
- ・職員と利用者との間に良い距離感が保たれている様子がうかがえた。
- ・利用者との関わりで威圧的な態度は感じられず、良好な関係性が見受けられた。
- ・案内や会議の中で、言いづらい内容についても率直に説明があり、透明性を感じたとの意見があった。

○地域との関わりについて

- ・地域行事に多く参加しており素晴らしいとの意見があった。
- ・近隣住民とのエピソードも多く、地域連携が既に実現されていると感じたとの意見があった。
- ・今後さらに密接な関係づくりが進むことを期待するとの意見があった。

7. 閉会

8. 総括

今回の地域連携推進会議では、施設の運営状況や利用者の暮らしの様子をご覧いただきながら、地域の皆様より多くのご意見をいただくことができた。施設環境や利用者の日常の様子について温かい評価をいただいた一方で、災害時の備えや設備面など、今後改善していくべき点についても具体的なご指摘をいただいた。いただいたご意見は真摯に受け止め、必要な改善については順次対応を進めながら、今後の施設運営や支援の質の向上に活かしていきたい。

グループホームは地域の中で暮らしを営む生活の場であり、地域との関係の中で成り立つものでもある。自治会活動や地域行事への参加などを通じて、利用者との顔の見える関係が少しずつ広がっていることを改めて実感した。今後も地域の一員として、利用者一人ひとりの暮らしが地域の中で自然に続いていくよう、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、開かれた施設運営に努めていきたい。